

発行責任者 北川崇誠

編集者 北井悟司

連合奈良南和地域協議会 〒634-0061 橿原市大久保町 457-1 大松ビル 504 TEL0744-47-3905 FAX0744-47-2305

参議院議員選挙を振り返り 自・公政権大勝、 改憲勢力2/3上回る 戦争か平和かの分水嶺

7月10日に行われた参議院議員選挙では、投票日目前に安倍前首相が奈良市西大寺駅前での街頭演説中に銃撃され、死去するという前代未聞の事件の衝撃冷めやらぬ中、投開票が行われ、自・公政権が改選議席の過半数を得て勝利しました。

また与党などの改憲勢力が3分の2以上を占めるという、かつてない新たな政治状況となりました。岸田政権は、ロシアのウクライナ侵攻や、台湾をめぐる米中の対応を口実として、軍事の大幅増大を画策する一方で、社会保障制度の改悪を推し進め、社会的弱者の切り捨てを進めています。

これまでの歴史の中でも『武力で平和は守れない』ことは明らかです。1972年9月に日中共同声明を発表し、日本と中華人民共和国との国交正常化を実現した田中角栄総理大臣は、「一番いいことは、わが国周辺の平和が確かなものになることだ。国防費を増やす心配もなくなる。だから日中の国交回復なんだ」と政治家としての見識ある発言をしています。

短絡的に軍事費を増大さえすれば国が守れるとは、政治家としての責任を放棄するもので、アメリカ一辺倒の外交方針を改め、東アジアの各国での友好関係の醸成に向け奔走するのが日本の政治家の姿だと思います。

参議院議員選挙では勝敗を左右する32の一人区での勝敗が重要でしたが、結果は自民党が、28勝4敗と圧勝しました。原因は2019年選挙では32の全選挙区で達成した『野党統一候補』の体制整備が成就せず、野党がバラバラで闘った結果でした。

政党が自ら社会的弱者の側に立つとなく、党利党略に終始し、社会的な使命を放棄したことが『野党分裂』に拍車をかけた結果です。私たちと支持協力関係にある、立憲民主党・国民民主党の後退も惨憺たる状況にあり、政権交代を目指すことからは遠く及ばない状況で、きびしい総括が必要で、その事なしには、来年の統一自治体選挙で厳しい結果となることが必至です。働く人の政党の再構築に向け立憲民主党、国民民主党の真摯な対応が望まれます。

2022年 連合南和地協・南和地区労福協 合同ファミリーイベント開催！！

7月30日(土)、今年度の連合南和地協・南和労福協合同ファミリーイベントを大阪なんばグランド花月での吉本新喜劇鑑賞を、実施しました。



コロナ禍の影響で当初予定より参加者が減ったものの50人が集まり、参加した人たちは、漫才や新喜劇の『笑いの世界を』堪能しました。

毎年、子どもの夏休み期間に思い出に残る取り組みを目的として、この間実施してきました。コロナ禍が3年を迎える中ですが、参加された皆さんは、『満足』された取り組みとなりました。

次年度に向けて、参加された皆さんの満足度向上に向け、地協幹事会や教宣委員会での議論を積み上げ、新たな企画を提供できるよう奮闘していきます。